



神奈川県

県土整備局 河川下水道部 下水道課

神奈川県流域下水道事業経営ビジョン

（令和5年度経営状況）

令和7年3月

1 令和5年度決算

(1) 業務実績

処 理 人 口

(単位：人)

区分	令和5年度	令和4年度	増減
相模川流域	1,816,100	1,814,700	1,400
酒匂川流域	269,600	269,600	0
全体	2,085,700	2,084,300	1,400

流 入 下 水 量

(単位：m³)

区分	令和5年度	令和4年度	増減
相模川流域	230,634,340	229,996,360	637,980
酒匂川流域	41,986,300	43,558,270	△ 1,571,970
全体	272,620,640	273,554,630	△ 933,990

流域下水道事業は、相模川流域では9市3町、酒匂川流域では3市7町で事業を実施しており、令和5年度の処理人口は208万5千人、流入下水量は2億7,262万m³となっています。

(2) 経営状況

令和5年度決算額は次のとおりです。

本県の流域下水道事業では、県及び市町の協議により、市町維持管理負担金等を、費用に応じて収益としているため、例年の決算では損益は生じませんが、令和5年度は固定資産の無償譲渡による損失を計上したことにより約0.1億円の損失が生じています。

今後、施設の老朽化に伴う改築更新等により事業費の増大が見込まれる中、財源の確保に努めるとともに、施設の長寿命化や年度ごとの事業費の平準化を図りながら計画的に事業を推進することで、安定した経営に取り組んでいきます。

①収益的収支

(単位：百万円)

科目等		令和5年度決算額(A)			令和4年度決算額(B)			増減(A-B)		
		全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域
収益的収支	収益的収入 a	21,880	16,921	4,958	24,840	19,495	5,344	△ 2,960	△ 2,574	△ 386
	営業収益	10,698	8,091	2,607	12,041	9,287	2,753	△ 1,343	△ 1,196	△ 146
	市町維持管理負担金等	10,698	8,091	2,607	12,041	9,287	2,753	△ 1,343	△ 1,196	△ 146
	営業外収益	11,181	8,829	2,351	12,798	10,207	2,590	△ 1,617	△ 1,378	△ 239
	長期前受金戻入	9,066	7,183	1,883	10,314	8,257	2,057	△ 1,248	△ 1,074	△ 174
	一般会計繰入金	2,071	1,614	457	2,331	1,829	501	△ 260	△ 215	△ 44
	その他	42	31	10	152	120	31	△ 110	△ 89	△ 21
	収益的支出 b	21,825	16,873	4,951	24,670	19,361	5,309	△ 2,845	△ 2,488	△ 358
	営業費用	21,402	16,618	4,783	24,297	19,077	5,220	△ 2,895	△ 2,459	△ 437
	維持管理費	10,602	8,072	2,529	12,042	9,291	2,751	△ 1,440	△ 1,219	△ 222
支	減価償却費等	10,800	8,546	2,253	12,254	9,786	2,468	△ 1,454	△ 1,240	△ 215
	営業外費用	423	254	168	373	284	88	50	△ 30	80
	消費税資本的収支調整額 c	67	47	20	169	133	35	△ 102	△ 86	△ 15
	当年度純利益又は純損失 a-b-c	△ 13	0	△ 13	0	0	0	△ 13	0	△ 13

(注) 表の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所があります(次頁以降同様)。

＜収益的收入＞

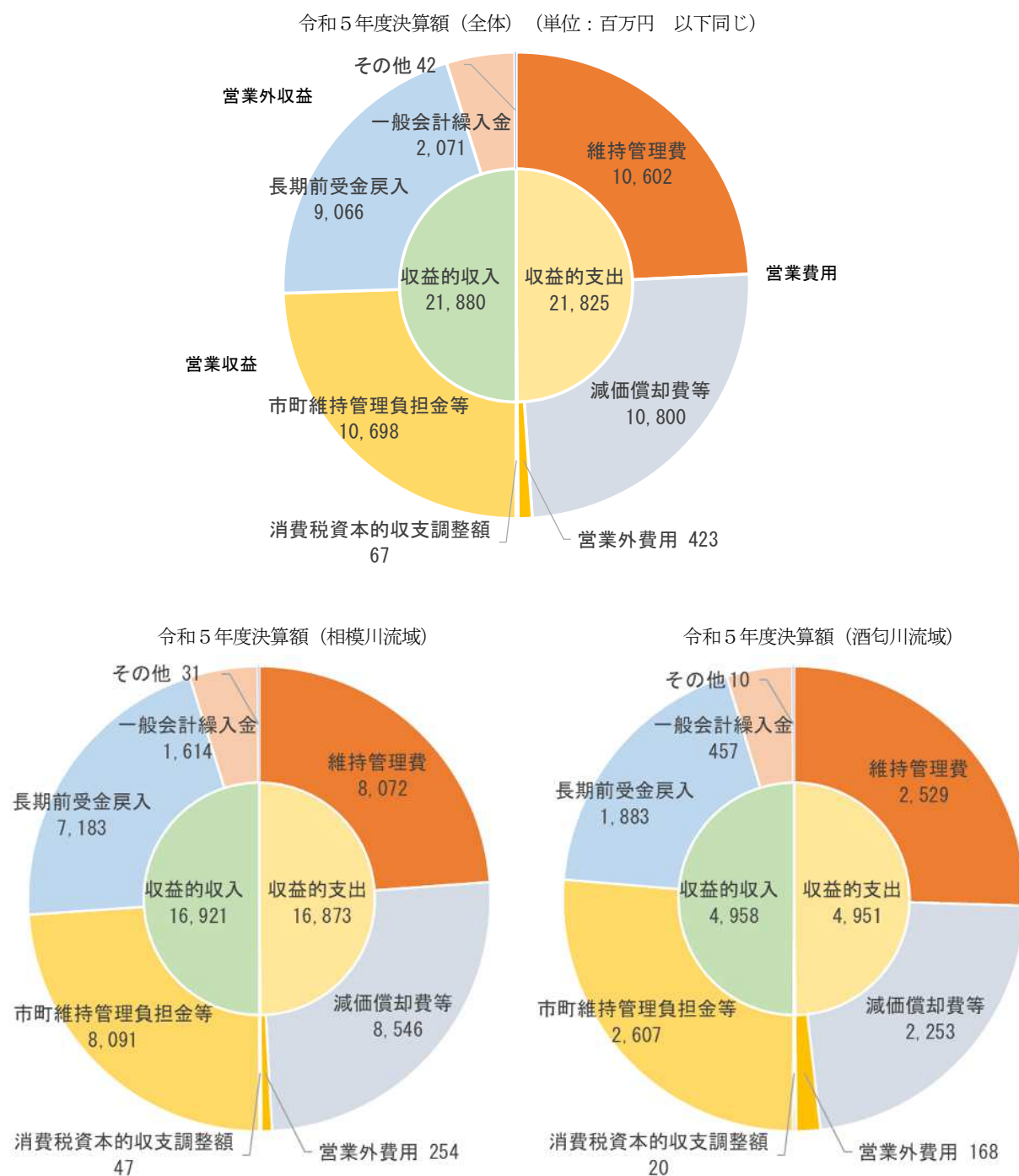
営業収益は、10,698百万円で前年度に比べ、1,343百万円減少しています。これは市町維持管理負担金等1,343百万円の減があったことによるものです。

営業外収益は、11,181百万円で前年度に比べ、1,617百万円減少しています。これは長期前受金戻入1,248百万円、一般会計繰入金260百万円の減等があったことによるものです。

＜収益的支出＞

営業費用は、21,402百万円で前年度に比べ、2,895百万円減少しています。これは減価償却費等1,454百万円、維持管理費1,440百万円の減があったことによるものです。

営業外費用は、423百万円で前年度に比べ、50百万円増加しています。これは支払利息36百万円の減があったものの、一般会計繰出金73百万円等の増があったことによるものです。



②資本的収支

(単位：百万円)

科目等		令和5年度決算額(A)			令和4年度決算額(B)			増減(A-B)		
		全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域
資本的 収支	資本的収入 d	5,857	3,162	2,694	5,777	4,099	1,678	80	△ 937	1,016
	（うち当年度財源）	(4,609)	(2,285)	(2,323)	(4,433)	(3,576)	(856)	176	△ 1,291	1,467
	（うち翌年度繰越財源） e	(1,240)	(869)	(370)	(1,344)	(522)	(821)	△ 104	347	△ 451
	企業債	1,118	477	640	1,067	765	302	51	△ 288	338
	（うち当年度財源）	(1,118)	(477)	(640)	(1,046)	(765)	(281)	72	△ 288	359
	（うち翌年度繰越財源）	(0)	(0)	(0)	(21)	(0)	(21)	△ 21	0	△ 21
	国庫補助金	2,449	1,166	1,283	2,822	2,135	686	△ 373	△ 969	597
	（うち当年度財源）	(2,192)	(974)	(1,217)	(2,293)	(1,949)	(344)	△ 101	△ 975	873
	（うち翌年度繰越財源）	(257)	(191)	(66)	(528)	(186)	(342)	△ 271	5	△ 276
	一般会計繰入金	909	621	288	797	628	169	112	△ 7	119
	（うち当年度財源）	(853)	(582)	(270)	(773)	(607)	(166)	80	△ 25	104
	（うち翌年度繰越財源）	(56)	(39)	(17)	(24)	(20)	(3)	32	19	14
	市町建設負担金等	1,379	896	482	1,090	570	520	289	326	△ 38
	（うち当年度財源）	(445)	(250)	(195)	(320)	(255)	(65)	125	△ 5	130
	（うち翌年度繰越財源）	(925)	(638)	(287)	(770)	(315)	(454)	155	323	△ 167
	資本的支出 f	7,748	4,201	3,547	7,835	6,139	1,696	△ 87	△ 1,938	1,851
	建設改良費	5,577	2,506	3,070	5,591	4,375	1,215	△ 14	△ 1,869	1,855
	企業債償還金	2,171	1,694	476	2,244	1,764	480	△ 73	△ 70	△ 4
資本的収支財源過不足額 d-e-f		△ 3,131	△ 1,908	△ 1,223	△ 3,402	△ 2,563	△ 839	271	655	△ 384
資本的収支不足額の補填財源		3,131	1,908	1,223	3,402	2,563	839	△ 271	△ 655	384

＜資本的収入＞

企業債は、1,118百万円で前年度に比べ、51百万円増加、国庫補助金は、2,449百万円で前年度に比べ、373百万円減少しています。

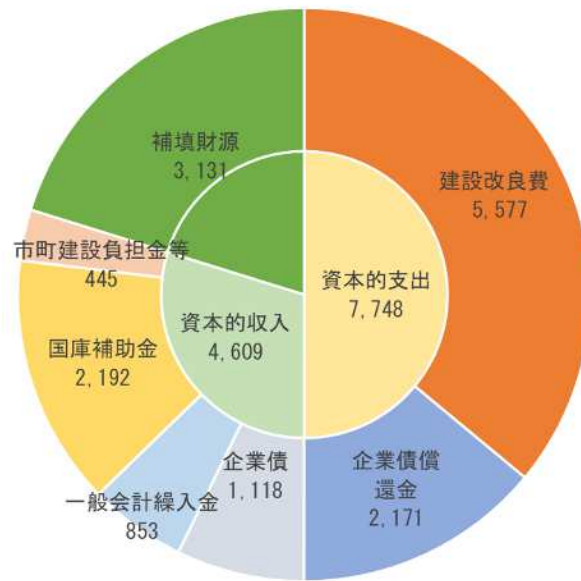
一般会計繰入金は、909百万円で前年度に比べ、112百万円増加、市町建設負担金等は1,379百万円で前年度に比べ、289百万円増加しています。

＜資本的支出＞

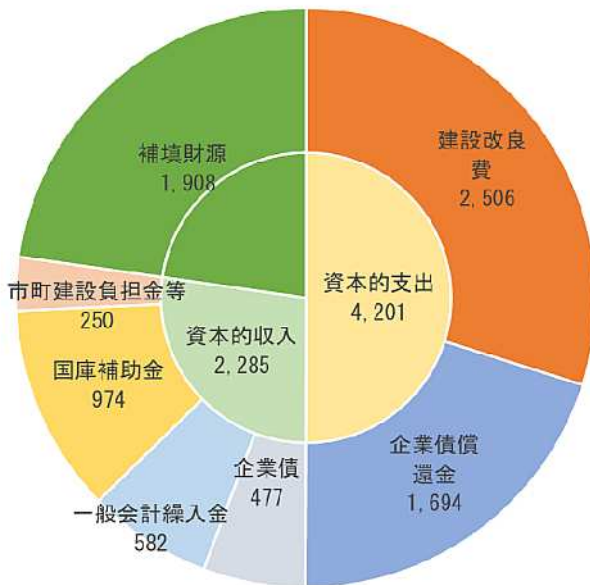
建設改良費は、5,577百万円で前年度に比べ、14百万円減少しています。

なお、翌年度繰越財源1,240百万円を除いた、資本的収入の総額は4,609百万円であり、これに対して資本的支出の総額は7,748百万円です。この不足額3,131百万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金及び繰越工事資金により補填しています。

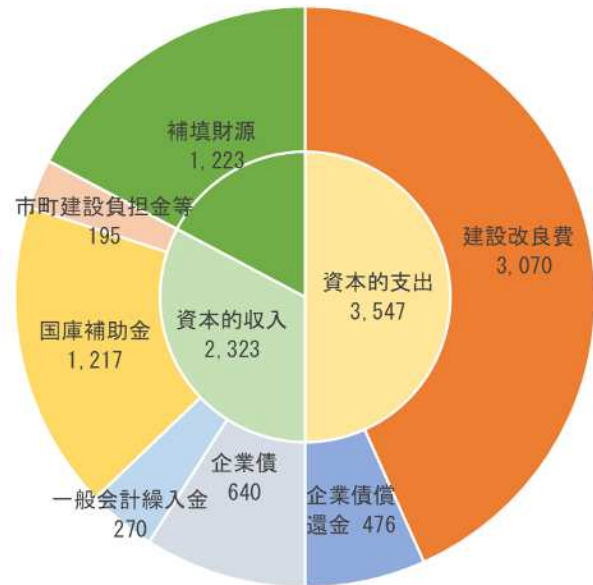
令和5年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和5年度決算額（相模川流域）



令和5年度決算額（酒匂川流域）



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和5年度の資本的支出に対する財源
（令和5年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。

(3) 主要施策別の決算額

(単位：百万円)

経営ビジョンの主要施策		令和5年度決算額		
		全体	相模川流域	酒匂川流域
1 効果的な 老朽化対策	(1) 改築更新の重点化	2,192	1,360	832
	(2) 適切な予防保全と維持管理の効率化			
	(3) 汚泥の集約処理			
2 災害対策の 強化	(1) 施設の耐震化	775	540	234
	(2) 施設の耐水化			
	(3) 下水処理場のネットワーク化			
	(4) 危機管理体制の強化			
3 環境保全の 推進	(1) 水環境の保全	1,972	248	1,723
	(2) 地球温暖化への対応			
合計		4,939	2,149	2,790

【改築更新の重点化】老朽化した機械設備の改築例（柳島水再生センター）

(改築前)



(改築後)



【地球温暖化への対応】散気装置の改築（酒匂水再生センター）

(改築前)



(改築後)



2 経営状況を確認するための主な指標(流域下水道)

(1) 汚水処理原価【汚水処理費用（公費負担分を除く）/年間有収水量】

流入下水量 1 m³当たりの汚水処理に要した費用を表すもので、維持管理の効率性が確認でき、低い方が望ましいといえます。
(単位：円<税抜き>)

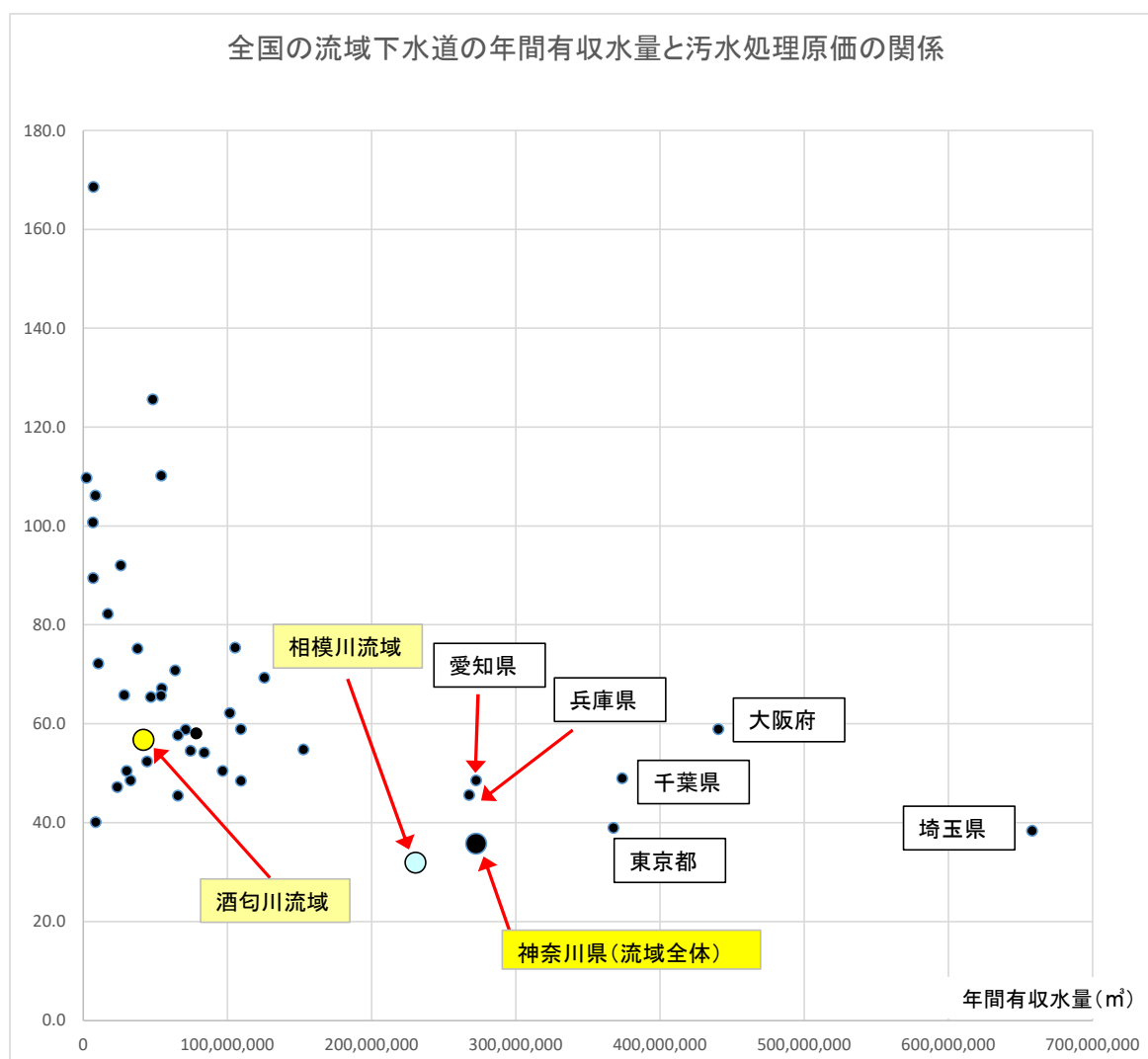
神奈川県						全国平均値	他都府県 (R4決算)					
R5決算			R4決算			(R4決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域							
35.72	31.90	56.71	40.05	36.73	57.59	52.71	38.35	48.93	38.93	48.53	58.91	45.59

【指標から分かること】

- ・ 全体として比較的低い値となっていますが、今後も維持管理の効率化を進めていく必要があります。

なお、相模川流域が酒匂川流域よりも低い値となっているのは、スケールメリットの差によるものと考えられます。

- (参考) ・ 下記グラフのとおり、規模が大きい（年間有収水量が多い）ほど、汚水処理原価は低くなる傾向があります。
- ・ 他都府県の値は複数の流域の合計です。



（２）自己資本構成比率【（資本合計＋長期前受金）／負債資本合計×100】

処理場設備等の資産取得を企業債等の負債以外の財源でどの程度賄っているかを表すもので、比率が高いほど、経営の健全性は高いといえます。（単位：％）

神奈川県						全国平均値	他都府県（R4決算）					
R5決算			R4決算			(R4決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域							
86.26	85.47	88.12	85.58	84.34	88.68	82.91	82.15	84.97	91.72	75.90	82.54	77.60

【指標から分かること】

- ・ 流域下水道事業で比較すると、国庫補助や起債の条件が同じである点で、他都府県と大きく変わらないものと考えられますが、全国平均値を若干上回っており、経営の健全性は比較的高いといえます。

（３）有形固定資産減価償却率

【有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100】

処理場設備等の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、数値が高いほど、設備等の老朽化が進んでいるといえます。（単位：％）

神奈川県 [R2]						全国平均値	他都府県（R4決算）					
R5決算			R4決算			(R4決算)	埼玉県 [H22]	千葉県 [R2]	東京都 [S43]	愛知県 [R1]	大阪府 [H30]	兵庫県 [H30]
全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域							
23.68	24.43	21.04	18.56	19.21	16.27	36.56	44.21	12.19	54.26	14.59	61.54	23.92

※ 都府県名の下のカッコ[]は、公営企業会計に移行した年度です。

【指標から分かること】

- ・ 有形固定資産減価償却率は、法適用企業でないと算出できないため、基本的に公営企業会計移行後の数値となっており、他自治体との単純な比較はできませんが、総務省の経営比較分析表に基づき整理すると上記の数値となります。

なお、令和２年度に公営企業会計に移行した本県の数値は上記のとおりですが、公営企業会計移行前の減価償却を考慮して推計すると下記（参考）の数値となります。

移行年度の近い他都府県との比較や、公営企業会計移行前の減価償却を考慮した値を見ると、本県の資産は老朽化がやや進んでいると考えられ、今後、財政状態の健全性を確保しながら、計画的に改築事業を進めていく必要があります。

（参考）

神奈川県					
R5決算			R4決算		
全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域
70.36	70.86	68.58	68.44	68.88	66.85

※ 出典：表及びグラフの他都府県の値並びに全国平均の値は、令和４年度地方公営企業決算状況調査表及び経営比較分析表（総務省）によるものです。

【参考】決算と経営ビジョンの比較

経営ビジョンでは、主要施策の実施に係る事業費の算出や汚水量の推計等を行い、公営企業会計の区分による10年間の流域下水道事業の収支の見通しを示していますが、決算額との比較は次のとおりです。

(1) 流域下水道事業全体

(単位：百万円)

科目等		令和5年度 決算額 流域合計(A)	令和5年度 経営ビジョン 流域合計(B)	増減 A-B
収 益 的 収 支	収 益 的 収 入 a	21,880	23,528	△ 1,648
	営 業 収 益	10,698	12,266	△ 1,568
	市町維持管理負担金等	10,698	12,266	△ 1,568
	営 業 外 収 益	11,181	11,261	△ 80
	長期前受金戻入	9,066	9,128	△ 62
	一般会計繰入金	2,071	2,127	△ 56
	その他の	42	6	36
	収 益 的 支 出 b	21,825	23,528	△ 1,703
	営 業 費 用	21,402	23,192	△ 1,790
	維持管理費	10,602	12,257	△ 1,655
	減価償却費等	10,800	10,935	△ 135
	営 業 外 費 用	423	336	87
	消費税資本的収支調整額 c	67	-	67
	当年度純利益又は純損失 a-b-c	△ 13	0	△ 13
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入 d	5,857	9,242	△ 3,385
	(うち当年度財源)	(4,609)	-	
	(うち翌年度繰越財源) e	(1,240)	-	
	企 業 債	1,118	1,846	△ 728
	国 庫 補 助 金	2,449	4,548	△ 2,099
	一 般 会 計 繰 入 金	909	976	△ 67
	市 町 建 設 負 担 金 等	1,379	1,871	△ 492
	資 本 的 支 出 f	7,748	11,048	△ 3,300
	建 設 改 良 費	5,577	8,893	△ 3,316
	企 業 債 償 還 金	2,171	2,156	15
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 3,131	△ 1,806	△ 1,325
	資本的収支不足額の補填財源	3,131	1,806	1,325

(2) 相模川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和5年度 決算額 相模川流域(A)	令和5年度 経営ビジョン 相模川流域(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入 a	16,921	18,150	△ 1,229
	営 業 収 益	8,091	9,322	△ 1,231
	市町維持管理負担金等	8,091	9,322	△ 1,231
	営 業 外 収 益	8,829	8,827	2
	長 期 前 受 金 戻 入	7,183	7,169	14
	一 般 会 計 繰 入 金	1,614	1,655	△ 41
	そ の 他	31	3	28
	収 益 的 支 出 b	16,873	18,150	△ 1,277
	営 業 費 用	16,618	17,891	△ 1,273
	維 持 管 理 費	8,072	9,311	△ 1,239
	減 価 償 却 費 等	8,546	8,580	△ 34
	営 業 外 費 用	254	259	△ 5
	消費税資本的収支調整額 c	47	-	47
資 本 的 収 入	当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0
	資 本 的 収 入 d	3,162	6,483	△ 3,321
	(うち当年度財源)	(2,285)	-	
	(うち翌年度繰越財源) e	(869)	-	
	企 業 債	477	1,323	△ 846
	国 庫 補 助 金	1,166	3,054	△ 1,888
	一 般 会 計 繰 入 金	621	767	△ 146
	市 町 建 設 負 担 金 等	896	1,339	△ 443
	資 本 的 支 出 f	4,201	7,893	△ 3,692
	建 設 改 良 費	2,506	6,214	△ 3,708
	企 業 債 償 還 金	1,694	1,679	15
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 1,908	△ 1,410	△ 498
	資本的収支不足額の補填財源	1,908	1,410	498

(3) 酒匂川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和5年度 決算額 酒匂川流域(A)	令和5年度 経営ビジョン 酒匂川流域(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入 a	4,958	5,378	△ 420
	営 業 収 益	2,607	2,944	△ 337
	市町維持管理負担金等	2,607	2,944	△ 337
	営 業 外 収 益	2,351	2,434	△ 83
	長 期 前 受 金 戻 入	1,883	1,959	△ 76
	一 般 会 計 繰 入 金	457	472	△ 15
	そ の 他	10	3	7
	収 益 的 支 出 b	4,951	5,378	△ 427
	営 業 費 用	4,783	5,301	△ 518
	維 持 管 理 費	2,529	2,946	△ 417
	減 価 償 却 費 等	2,253	2,355	△ 102
	営 業 外 費 用	168	77	91
	消費税資本的収支調整額 c	20	-	20
資 本 的 収 入	当年度純利益又は純損失 a-b-c	△ 13	0	△ 13
	資 本 的 収 入 d	2,694	2,759	△ 65
	(うち当年度財源)	(2,323)	-	
	(うち翌年度繰越財源) e	(370)	-	
	企 業 債	640	523	117
	国 庫 補 助 金	1,283	1,495	△ 212
	一 般 会 計 繰 入 金	288	209	79
	市 町 建 設 負 担 金 等	482	532	△ 50
	資 本 的 支 出 f	3,547	3,155	392
	建 設 改 良 費	3,070	2,679	391
	企 業 債 償 還 金	476	476	0
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 1,223	△ 396	△ 827
	資本的収支不足額の補填財源	1,223	396	827